

第6学年1組 学級活動(1)指導案

北九州市立小石小学校

1 議題 「『1年生と仲良くなろう集会』をしよう」

学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 児童の経験と能力の実態

- 本学級の児童(男子12名、女子14名、計26名)は、明るく元気がよく、友達を気遣うことができる児童が多い。「リーダーとして責任をもって行動するクラス」「仲良く助け合うクラス」「元気で楽しいクラス」という学級目標に向かい、最高学年としての役割を日々考え、様々な実践をしている。

これまでの学級会では、「歓迎集会の出し物を決めよう」(4月)や「学級目標を決めよう」(5月)の議題で話し合い、実践をしてきている。学級会の基本的な進め方は定着しており、「自分たちでやっていける。」という自信をもち、積極的に準備などに取り組む姿がよく見られる。しかし、過去2回の学級会では、不測の事態に対して、司会グループの児童がうまく対応できずに話し合いが停滞したり、説得力のある理由を挙げながら発言できなかったりという場面があった。また、学級会の後半になるにつれて、発言する児童が固定化されてしまうという実態も見られる。このような現状を皆で意識しながら、より深まりのある話し合いを目指しているところである。

3 議題選定までの経過

- 本議題は、「1年生との関わりをもっと深めていきたい。」という児童の思いから選定された。これまで、本学級の児童は、朝の準備や給食の片付け、掃除などの基本的な学校生活に関する手伝いを中心に、1年生をサポートしてきた。また、それ以外にも、昼休みに1年生の教室に行って話をしたり、運動場で一緒にボール遊びをしたりするなど、サポートという枠を超え、下級生と関わることに喜びを感じているように見受けられる。さらに先日、1年生からこれまでの感謝の気持ちをまとめた、メッセージカードをもらったことで、その喜びもひとしおのようだった。そのお返しとして、1年生の児童と楽しめる活動をしたいという声が上がっていた。そのため、本学級の児童にとって、意欲をもって話し合うことのできる絶好の議題であると考え。本活動が、最高学年としての自覚を高めるだけにとどまらず、本学級の児童の自己有用感の高まりにつながることを期待している。

4 評価規準

評価の観点	本活動における具体的な児童の姿
よりよい生活を築くための知識・技能【知】	<ul style="list-style-type: none">○ みんなで楽しく豊かな学級や学校生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意義を理解している。○ 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現【思】	<ul style="list-style-type: none">○ 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し合って実践している。

<p>主体的に生活や人間関係をよくしようとする態度【態】</p>	<p>○ 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。</p>
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

5 具体的な指導の手立て

(1) 計画・準備(事前)

- 学級の児童に議題や柱を知らせ、背面黒板の学級活動コーナーに掲示することで学級会に向けて見通しがもてるようにする。
- 個人ノートに考えを書いておき、自分の意見をもって話し合いに参加することができるようにする。自分の考えや理由が書けない児童については、個別に声かけをし、一緒に考えるようにする。
- 計画委員会では、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方などの指導を密に行い、話し合いがスムーズに行えるように支援する。
- フロアの児童が意見を比べやすいように、全員の学級会ノートに目を通しておき、計画委員会と教師で意見の仲間分けをしておく。

(2) 学級会(本時)

- キーワード「1年生が楽しめる」「1年生との仲を深める」や決まっていること「日時:7月8日(金)5時間目」「場所:体育館」「準備は学活の時間と昼休み」等を示し、それらを意識しながら話し合いができるようにする。
- 見通しをもって話し合うことができるように「出し合う」「わかり合う」「まとめる」のプレートをもとに、順序よく話し合うことができるようにする。
- 終末の教師の話では、「理由をつけて発表できたこと」「友達の意見を認めながら聞いたこと」「話し合いのめあてや学級目標を意識して意見が言えたこと」「計画委員会の頑張り」等について称賛し、満足感を味わわせるようにする。そして、「1年生と仲良くなろう集会」への意欲付けをする。

(3) 実践活動・振り返り(事後)

- 学級会で決まった内容から、各自の役割を決め、集会に向けて協力して準備をする。
- 一人一人がめあてをもって、協力して取り組むことができるようにする。

(4) 振り返りの手立て

- 自分のめあてを決めて、振り返りノートに記入し、準備や集会に臨ませるようにする。
- 活動の終了後にめあてが達成できたかどうかや、活動を通して感じたことを振り返りノートに記入させるようにする。また、振り返りノートには、「この経験を生かして、次にかんばりたいこと」という視点を設け、今後の活動を意識させるようにする。

6 事前の活動

主な活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
<p>1 計画委員会で議題を選定し、議題を決定する。その内容を全員に諮る。 6月20日(月) 昼休み 計画委員会</p>	<p>○ 提案者の思いや活動の意義を話し、議題への関心を高めさせるようにする。</p>	

<p>帰りの会 全員</p> <p>2 提案理由を基に柱を決める。 6月21日(火) 昼休み 提案者・計画委員会</p> <p>3 議題、提案理由、めあて、柱を確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。 6月22日(水) 全員</p> <p>4 話合いの準備や練習をする。 6月23日(木) ~24日(金) 昼休み、放課後 計画委員会</p> <p>5 学級会のリハーサルを行う。 6月27日(月) 昼休み 計画委員会</p>	<p>○ 全員で話し合って決めるべき内容を考え、柱を決定できるように助言する。</p> <p>○ 決まっていることやプログラムなどを確認し、事前に考えをもたせることで、学級会での発言をしやすくする。</p> <p>○ 「学級会の進め方シート」で進め方を確認する。教師も一緒に参加し、励ますことで、自信をもって話合いに臨めるようにする。</p>	<p>【態】 1年生が楽しめる活動内容を考えながら取り組もうとしている。 (学級会個人ノート)</p> <p>【知】 合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解している。 (発言内容、行動観察)</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7 本時の活動

(1) 日時 令和4年6月28日(火)5校時(於:6年1組教室)

(2) 本時のねらい

「1年生と仲良くなろう集会」の内容について話し合うことを通して、1年生と楽しみながら仲を深めることのできる活動について、合意形成を図ることができる。

(2) 準備 教師:黒板掲示用プレート(議題・提案理由・柱1・柱2など)

児童:学級会ノート(全員)、話合い計画書・学級会グッズ(計画委員会)

(3) 児童の活動計画

第3回 学級会の計画 6月28日(火)5校時		
<p>議題 「『1年生と仲良くなろう集会』の計画を立てよう」</p> <p>提案者 A・Hさん R・Yさん</p> <p>提案理由 1年生ともっと仲良くなれば、1年生はもちろん、6年生ももっと楽しく学校生活を送ることができるようになると思ったからです。</p> <p>話し合いのめあて ① 1年生と仲を深められるような集会になるように話し合おう。 ② 自分の考えをもって、最後までみんなで話し合おう。</p>		
主な活動計画	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 議題と提案理由の確認</p> <p>3. めあての確認</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日時：7月8日(金)5校時 場所：体育館 準備は学活の時間と昼休み 道具は学校にあるものを使う</p> </div> <p>5. 話し合い</p> <p>柱1 仲を深める活動について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○運動系(1つに決める)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっぽとり ・ドッジボール ・おにごっこ <p>○ゲーム系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばくだんゲーム <p style="text-align: center;">(わかり合う→まとめる)</p> </div> <p>柱2 1年生が楽しめるルールについて</p>	<p>○ 議題、提案理由、話し合いのめあてなどは、事前に模造紙や短冊に書き、黒板に掲示しておく。</p> <p>○ めあてに沿って話し合いができるように、全員で読んで意識できるようにする。</p> <p>○ 決まっていることやキーワードを確認できるようにする。</p> <p>○ 意見が出ないときは、小グループの話し合いを取り入れ、意見を出しやすくするように司会に助言しておく。</p> <p>○ 黒板の意見が多い場合は、分類整理するために短冊黒板を操作するように、黒板記録に助言しておく。</p> <p>○ 計画委員会に、まとめ方を助言しておく。</p>	<p>【思】「1年生と仲良くなろう集会」での活動内容について、多様な意見のよさを生かして合意形成を図ることができる。</p> <p style="text-align: right;">(発言内容・行動観察)</p>

<p>て (出し合う→わかり合う→まとめる)</p> <p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. 振り返り</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. 終わりの言葉</p>	<p>○ 本時の話合いの振り返り、事後の活動に向けての思いや頑張りたいことなどを学級会ノートに記入する。</p> <p>◎ めあてや学級目標を意識した発言を称賛する。計画委員会をねぎらう。次の活動への意欲付けをする。</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

8 事後の活動

主な活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
<p>1 「1年生と仲良くなろう集会」の準備をする。 (6月29日～7月7日 学活、休み時間 全員)</p>	<p>○ 計画に沿って協力して活動できるように支援する。</p> <p>○ 集会のめあてを意識し、自分の役割が果たせるよう声かけをする。</p>	<p>【主】合意形成をしたことをもとに、役割や責任を果たしながら活動に取り組んでいる。(行動観察)</p>
<p>2 「1年生と仲良くなろう集会」をする。 (7月8日 5校時 全員)</p>		
<p>3 「1年生と仲良くなろう集会」の振り返りをする。 (7月8日 5校時後 全員)</p>	<p>○ 友達と協力したことや、話合いを通じて充実した集会になったことを認め、称賛する。また、最高学年として下級生や学校全体のために活動することの意義について話をする。</p>	